

図書館だより 1月号



2022年が始まりました。寒い日が続く、家にいる機会も多いと思います。勉強や部活動の合間に本を読みましょう。

【新任の先生より】

養護教諭 三浦 慶子 先生

みなさんは小さいころ、宇宙飛行士になりたいと思ったことはありますか？（今もなりたいたいと思っている人がいたらごめんなさい。）JAXA（ジャクサ：宇宙航空研究開発機構）では13年ぶりに宇宙飛行士を募集するそうですね。私の宇宙飛行士のイメージは、頭脳明晰かつ健康で、コミュニケーション能力もストレス耐性も高い人です。宇宙飛行士になりたいと思ったことは一度もありませんが、そんなスーパーマン・スーパーウーマンみたいな人は、日頃どんなことを考えて過ごしているのだろう・・・とは常々思っていました。

数年前、そんなスーパーマン・スーパーウーマンみたいな人の思考に興味を持ち読んだ本が、『宇宙飛行士に学ぶ心の鍛え方』です。この本の著者は、宇宙飛行士である古川聡さんですが、宇宙での業務に加え、様々なストレスにどう対応するか、目標の達成に向けて何をすべきかなど、人生に共通と言える課題に対する考え方や実践方法を、経験を基に分かりやすく伝えてくれています。みなさんも、例えば今の自分に自信が持てなかったり、心を落ち着かせたいと思うことがあったりするのではないのでしょうか。自分の身の回りの出来事に置き換えながら読むことで、毎日を豊かに生きるヒントになるかもしれません。興味を持った人はぜひ。



【新刊紹介】

12月に次のような新刊が学校図書館に入りました。

- 『神さまのいる書店』（三萩せんや）
- 『神様の御用人』（浅葉なつ）
- 『あめつちのうた』（朝倉宏景）
- 『BANKSY』（ジョン・ブランドリー）
- 『日本語不思議図鑑』（定延利之）
- 『一笑両断 まんがで斬る政治』（佐藤正明） 等



上記の本以外にも、今回は日本語に関するものを何冊か購入しています。言葉に興味のある人はぜひ読んでみてください。

『52ヘルツのクジラたち』(町田そのこ)

2021年の本屋大賞受賞作品。タイトルは、他の鯨からは聞き取れない高い周波数で鳴き、懸命に歌っても仲間に気が付かれないため、「世界でもっとも孤独な鯨」といわれている「52ヘルツの鯨」からとられている。

児童虐待・家庭内DV・介護・トランスジェンダーなどの社会的問題が取り扱われている。



『アポロンと5つの神託』(リック・リオードン)

太陽神アポロンは、ゼウスの怒りを買って、天上界からニューヨークに落とされた。神的思考をもちながら、神的能力はゼロ。16歳のふつうの少年として、5つの神託を取り戻さなければならない……。神でもなく、人間でもないおれはいったいだれなんだ……。前途多難な、アポロンの試練が始まる。

〔12月 月間図書貸出冊数〕

〈クラス別〉

12月1日～12月24日

1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3
2冊	11冊	1冊	34冊	12冊	1冊	5冊	5冊	9冊

〈個人別〉

- 1位 16冊 前田 結衣 (2-1)
- 2位 10冊 東海林 茉莉 (2-2)
- 3位 9冊 吉見 彩花 (2-1)



**自宅や教室の机の中に、学校図書館で借った本が眠っていませんか？
もしあれば、忘れずに返却しましょう。**

書物の新しいページを1ページ、1ページ読むごとに、
私はより豊かに、より強く、より高くなっていく。

チャーホフ

(ロシアの劇作家・小説家/1860-1904)